

臨床研究のお知らせ

研究課題名：在宅医療における薬剤師の処方提案に関する後方視的解析

1. 研究内容

近年、薬剤師が地域において薬剤の適正使用について貢献することが求められています。調剤薬局の薬剤師は、医師の処方に対して、適正な薬物療法が行われているかをチェックする義務があります。本研究では、薬剤師が薬剤の適正使用にどの程度貢献しているかを調査することを目的としています。

2. 対象となる方

平成 27 年 10 月から平成 28 年 2 月までの期間にフェイス調剤薬局(名古屋市中川区)で調剤を受けられた方のうち、在宅医療を受けられていた方

3. 研究方法

調剤薬局に保管された処方せん、調剤録について、性別、年齢、処方された薬の数量、用法、疑義照会(処方提案)の内容について調査を行います。調査では、個人が直接特定できる情報(氏名や住所など)は収集しません。解析結果は、学会や学術誌で発表することがありますが、対象者の個人情報が公表されることは一切ありません。この研究の対象となる方で、ご自分を調査対象から除外してほしいと望まれる方はご連絡ください。

愛知学院大学薬学部臨床薬物動態学講座

研究実施責任者 國正淳一

共同研究者 浦野公彦

〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

電話 052-751-2561 内線 2151